

分担金・拠出金の名称	南太平洋経済交流支援センター(SPEESC)拠出金(任意拠出金)		評価	B
拠出先の国際機関名	南太平洋経済交流支援センター(SPEESC)			
国際機関の概要	・本センターは、南太平洋フォーラム(SPF。2000年に太平洋諸島フォーラム(PIF)に改称)から、我が国政府に対し、日本と同フォーラム参加島嶼国との間の経済交流促進のため、経済交流支援センターの設立支援につき要請があったことを受け、1996年10月1日、東京において日本政府と南太平洋フォーラム事務局が共同で設立。 ・本件センターは主な業務として、太平洋島嶼国との間での貿易、投資、観光にかかる各種照会への対応、見本市やミッション等の企画・便宜供与、企業に対する助言、対日輸出産品開発事業、市場調査・統計整備、広報活動等を行っている。			
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標			達成状況	
1. (1) 成果目標:SPEESCへの拠出を通じて、主に経済面で太平洋島嶼国との連携を強化し、我が国の外交上の重要課題である経済安全保障の確保や国力に見合った国際場裡での地位の確保を図る。 活動指標:太平洋島嶼国の対日輸出促進、日本から島嶼国への投資促進及び観光促進を図るために有益な事業の企画・実施。			本センターは、貿易、投資、観光分野における経済交流促進のための各種事業(島嶼国への経済ミッションの派遣、島嶼国の物産展の日本での実施など)を実施することにより、島嶼国の対日輸出促進や我が国から島嶼国への投資促進に繋がる日本企業と現地企業間の関係構築を支援する等、太平洋島嶼国の経済的自立促進を支援する我が国の窓口機関としての機能を果たしている。本件拠出金は、センターの活動費として各種プロジェクトを支援するもので、結果実施される活動は、我が国と太平洋島嶼国との友好協力関係の維持・強化に資し、国際場裡における我が国の外交政策に対する島嶼国による支持を確保することにつながり、日本の外交力強化の一助となっている。また、我が国への資源(漁業、PNGの天然ガス等)の安定供給にも貢献している。	
(2) 成果目標:SPEESCにおける我が国の発言力・影響力の確保 活動指標:理事会の席を維持し、SPEESCの運営に積極的に関与。			日本政府は理事会の構成員として、本センターの事業計画、年次予算、年次報告などを承認する権限を有しており、本センターの運営に積極的に関与し、我が国の意向を反映してきている。	
(3) 成果目標:SPEESC事務局の組織・財政マネジメント等の向上 活動指標:理事会において合理的かつ適正な予算規模の維持及び効率的かつ適正な予算の執行を確保			我が国は、理事会に構成員として参画した上で、プロジェクトに拠出することでセンターの活動につき大きな影響力を有している。理事会は事務局に対し、監督、管理をする体制となっており、我が国が積極的に理事会で活動することにより、SPEESCの適正な予算規模の維持や効率的かつ適正な予算執行の確保に貢献している。	
(4) 成果目標:我が国人材の知見、専門性等を通じたセンター活動の質の維持・向上 活動指標:適切な人材及び邦人職員の確保			現在、同センター事務局は3名で構成されており、所長を始め、次長、プロモーションコーディネーターのそのいずれも邦人職員である。更に、所長は、JICA専門家として前PNG国家計画省顧問を務めるなど、太平洋島嶼国の各種事情に通じると共に、本センターの主な業務である貿易、投資、観光推進に関する深い知見を有する。	
2. PDCAサイクルの確保			以下の通り、PDCAサイクルを確保している。 ①計画段階(Plan):SPEESC所長がセンターの年次計画案、年次予算見積もり及び年次報告を作成し、日本政府と太平洋諸島センターの代表により構成される理事会に提出し、承認を得る。②実施段階(Do):予算拠出。我が国政府が毎月作成される収支計算書により適正な支出管理等が行われているか確認。③評価段階(Check):本件拠出金の適正な支出・管理などに関し、毎年外部監査を実施。また、同会計検査の結果は理事会に報告。④フォローアップ段階(Act):理事会において外部監査を経た会計報告書について、その使途の適正等について確認、意見交換等を行う。	
担当課・室名	アジア大洋州局 大洋州課			